



『番外編シリーズ Vol.7』

「きよしこの夜」の力

アメリカのカントリーミュージックスター、トラビス・トリットは、音楽界で有名になる前は、よく場末の酒場で歌っていたそうです。彼の話によりますと、酒場の多くは彼のファンが些細なことでけんかを始める危険なところだったそうです。しかし、そのような状況の中で彼は平和を保つユニークな方法を見つけました。トラビスはこう言います。

『『きよしこの夜』で何度も命拾いしましたよ。暴走族がビリヤードの突き棒に手を出し、赤っ首野郎たちが銃器棚に向かい始めて酒場のけんかがいよいよ手に負えなくなると、私は『きよしこの夜』を演奏し始めるんですよ。真夏の7月だって私はかまいませんでした。時には涙を流すやつもいました。冷や汗をかきながらクリスマスキャロルを演奏する私を見ながらね。』

クリスマスの時期になると世界中で歌われる「きよしこの夜」。荒くれ男たちをも平安にする不思議な力を持った歌です。言うまでもなくこの歌は、平和の君 (Prince of Peace) と呼ばれたイエス・キリストの誕生を喜び、祝う歌です。このクリスマス、全世界の人々に平安と平和を与えるために来られたイエス・キリストの祝福があなたにありますように！

God Bless You!